



武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

3
6
号

- ◆武井誠ら 4 議員に議員辞職勧告
- ◆坂戸市議会 1 2 月定例会報告
- ◆連載「あなたの平和・私の人権⑧」
- ◆無料法律・年金・市民生活相談

武井誠に突然の議員辞職勧告

自宅療養中の本人に確認
もせず事情も聴かないまま

武井誠は、新型コロナウイルスに感染していることが判明して議会を欠席、11月25日まで自宅療養を余儀なくされました。(幸い軽症で、後遺症ありませんでした)。

武井他3議員への辞職勧告決議が出されたことを、武井は療養中、議員用タブレットに決議案が送信されてはじめて知りました。

翌週、武井は藤野議長、石井副議長に面会し、事実確認もしないままに出されたこの決議案は取り下げられるべきではないかと訴えましたが受け入れられませんでした。

初めて発言の機会が与えられたのは自分自身の辞職勧告決議が上程された本会議の

場。そのあと、退席というルールなので質疑に答えることもできず、夜遅くに議案可決。翌7日に、他の議員への辞職勧告決議案も賛成多数で可決されました。

なぜ、そんなに採決を急ぐ
なぜ、政倫審を開かない！

坂戸市議会議員倫理条例では、こういう時には政治倫理審査会を開き、ていねいに審査することになっています。なぜそうしないのか。会派「立憲民主・社民の会」は全員が対象なので、審査会委員が出せないというのがその理由ですが、4人一括の議員辞職勧告というのが乱暴極まることで、順に一人一人審査すべきなのです。辞職勧告の理由については次ページをご覧ください。



武井誠はホームページの活動日記(デイリーレポート)を毎日更新、今回の経緯についても詳しく報告しています。

活動予定、災害情報、無料「困りごと」相談案内等もご覧いただけます。武井誠と入力検索でご覧いただけます。ツイッターやフェイスブックからも発信しています。また月1回、「デイリーレポート配布版」も作成しています。ご希望の方には、お届けします。

原爆絵画展実行委の会費300円で

埼玉新聞2022年12月9日号の2面に掲載された記事は、下記のとおりです。

**市議4人に
辞職勧告決議**

坂戸市議会は7日に行われた12月定例会で、武井誠、中村拓史、弓削勇人（以上立憲民主・社民の会）と平瀬敬久（無所属）の市議4氏に対する議員辞職勧告決議を賛成多数で可決した。同決議には法的拘束力はない。

決議によると、4氏は原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会が主催し、8月20、21日に市内で開催された原爆絵画展に協賛金を拠出。報告集に協力者として氏名が掲載された。この協賛金は当該選挙区内の者に対する寄付を禁じた公職選挙法のほか、同市議会議員政治倫理条例にも抵触すると指摘。議員の職を辞するよう勧告している。関係者などによると、4人はそれぞれ300円または500円の協賛金を出したという。

議案は石井寛（民政クラブ）古内秀宣（公明）小沢弘（みらい）飯田恵（さかど新政治）の4氏が提出者となって、6日に提案された。

記事の内容に間違いはありませんが、武井は絵画展実行委員として、例年通りの「会費」という意識で300円を拠出しました。他の3議員の方への説明・配慮が足りなかったことを心から反省しています。しかしそれにして、それぞれ事情のちがう4議員まとめた辞職勧告、しかも最終日さえ待たず、一気に採決まで強行するのはあまりにも性急であると訴えましたが、聞き入れられませんでした。

武井誠はさらに、4議員への辞職勧告に対する「可罰的違法性（違法性が軽微であるとき罰するまでの違法性があるかどうかという判断基準）」について主張しました。逆に言えば、4議員への辞職勧告の根拠となる公職選挙法、坂戸市議会議員倫理条例、市議会の虚礼廃止に関する決議は、どういふことをなくすために作られたものなのか、ということです。

私の行ったことは寄付には当たらないという弁護士の見解もありますが、仮に公職選挙法違反の疑いがあるとしても、私たちの数百円の拠出が「議員辞職に値する」という判断で出されたこの議案の提出者は「可罰的違法性」についてどう考えているのでしょうか。オンラインで傍聴された市民の方の感想を紹介します。

この人たちは何をやっているんだろうかとだんだん悲しくなってきました。

今、物価が上がって収入は増えず、私自身も厳しさを肌で感じています。生活に困窮する人は増え、明日もどうなるかと思っている人がたくさんいます。そんななかで300円の協賛金で議員を辞めろ、辞めないという話し合いを延々と夜中までしているのですから、市民の声はどこにあるのか？この人たちは市民の代弁者ではないのか？そんな気がしました。

ちなみに「原爆絵画展」は30年以上続いている市民ボランティアの活動です。ヒロシマ市民の体験した現場を描いた絵が展示されています。プロの描いた絵とは違いますが、だからこそ伝わってくるものがあります。紙芝居や、平和ツアーに参加した子どもたちの発表などもあります。市民の手で続けられてきた、だからこそ価値のある活動だと思っています。

300円の協賛金は公選法違反だと言われても、その先にあるのは選挙の票ではない、市民の平和活動の継続と発展、二度と戦争はしないという強い気持ちなのだとは言い切れません。せつかくの機会です。来年8月の原爆絵画展にはぜひ多くの方にお越しいただきたいです。

武井誠は、議員辞職しません！

12月議会報告

武井誠は「コロナ」による自宅療養のため、一般質問通告を行うことができませんでした。提出された議案の特徴、陳情・請願、武井誠の委員会質疑などを報告します。

補正予算等で目立ったこと

目立ったのは電力・ガス・食料品などの価格高騰対策、及び「コロナ」対策にかかる経費について2億円余りが予算化されたこと、東上線の下をくぐる関間・千代田線立体交差建設工事で、予想外の地下水の止水が必要となり5億円余りの負担が生じたことでした。

前者は主に国からの交付金で賄われますが、後者は新たに坂戸市が負担することになります。

感染症対策と子どもの権利



「埼玉有志子どもの笑顔を守る会」の方たちから出された陳情が取り上げられ、市議会としての決議が全会一致で可決しました。

感染症対策における子どもの権利に関する決議。「コロナ禍」で制限されてきた子どもの健全に成長し発達する権利を取り戻す。特に、コロナ禍におけるマスクの着脱を始め、児童・生徒の個々の状況に応じた丁寧で適切な指導と対応を求める。というものです。陳情では給食時の「黙食」見直しも要望されていました。5月に「守る会」の方から

相談をいただいて半年あまり、武井誠は6月議会で「コロナ禍におけるマスク着用」、9月議会で「子どもの権利条約」について一般質問をしてきました。参考にさせていただき、こういう形で結実し、本当によかったです。

インボイス反対請願不採択

適格請求書等保存方式、いわゆる「インボイス」制度に反対する意見書を国に提出することを求める請願が出されました。中小企業者やフリーランスの方々が廃業の危機となる「社会的弱者いじめ」ともいえるこの制度の実施は中止すべきと考え、武井誠は賛成しましたが、賛成少数で不採択となりました。

総務文教常任委員会などで

そのほか、所属する総務文教常任委員会などで次の質疑を行いました。

- ・公務員65歳定年制が導入されるが、市役所職員の年齢構成バランスは歪まないか？
- ・学校でCBT（タブレットで子どもたちが解答をするテスト）がどんどん行われていくが子どもたちの健康をはじめ、いくつかの懸念があるが大丈夫か。
- ・マイナンバーカードがあるとコンビニでの証明書等の発行手数料が安くなるが、交付率は伸びない。少なくとも今、カードのない市民が不便な思いをしない配慮も必要では。

※マイナンバーカード交付率は国約51%、県49%、坂戸市47%（11月1日現在）

坂戸市の学校を「夢みる小学校」に(´▽`)

坂戸市、坂戸市教育委員会の後援で11月6日（土）に、入西地域交流センター（午前）と坂戸市文化施設オルモ（午後）で、映画「夢みる小学校」が上映され、合わせて300人を超える方がご覧になりました。公立学校を含め全国に増え始めている「体験を重視した総合学習、数字で成績をつけない、定期テストがない、宿題がない、校則がない（または子どもたちが話し合っただけ）」、そういうユニークな学校のドキュメンタリー映画は大変好評で、アンケートには「坂戸にもこういう学校が欲しい」という声がたくさん寄せられました。



あなたの平和・私の人権

～連載：市民の声⑧～

平和・人権・環境・雇用・産業・健康・福祉など、様々なテーマへの市民みなさまの声を掲載させていただきます。今回は、政府の防衛予算拡大に反対する方からの投稿です。

防衛予算拡大は不必要！

防衛予算を NATO(北大西洋条約機構)加盟国に求められている GDP 比 2%に、という宣伝があるが、NATO に加盟していない日本は、そもそも全く対象外である。世界のほとんどの国は、日本に防衛予算拡大を求めているし、貧困解決や経済援助、気候変動対策などが期待されている。

日本が世界第3位の軍事大国をめざすのは全く誤りである。歴史の教訓から何も学んでいない。NATO に加盟しているヨーロッパ諸国は、NATO 軍費と自国軍費あわせた合計額で、GDP 比 2%が求められているといわれるが、それでも民生費は削られるのだから、軍事費負担に反対の声も強い。

日本列島のアメリカ軍（世界各国に派遣している兵員約 19 万人の最大人数になる 5 万 6 千人が日本に駐留）と自衛隊をあわせてみ

てほしい。いまでも世界一の軍事費（米軍軍事費と日本の防衛費あわせて 10 兆円以上）が投下されている地域であり、さらなる防衛予算増は、軍事的緊張をエスカレートさせ戦争勃発の危険性をより高めることになる。

日本は、他国を攻撃する兵器を購入するのではなく、防災も考えた命を守る設備・体制を整えるべきだ。原発再稼働で危険を増大させるのは安全保障上でも最も愚かなことだ。

平和国家・専守防衛・平和経済に徹することが日本国憲法の本質であり、戦後 77 年、直接戦争に巻き込まれていない平和な日本をこそ守るべきだ。防衛費増額の財源があるなら、先進国で最低水準の教育費公費負担増・給食無料化・幼児教育充実・大学授業料減額、やるべきことはたくさんある。戦争への道ではなく子どもや若者の未来を明るくする施策に貴重な税金を使おう。（関間・M）

無料「困りごと」相談案内

私たち、社民党市民相談センターは、人権を何より重んじる社労士、心理カウンセラー、税理士、弁護士（4人）、そして地方議員（2人）計9人のチームです。野球チームではありませんが、それぞれの守備位置の任務を果たしつつ、相互に連携して相談された方に寄り添い、最善の解決方法を共に探ります。お気軽にご利用ください。

次回は 2023 年 1 月 14 日(土)
次々回は 2 月 18 日(土)、13 時から北坂戸駅東口前文化施設オルモで行います（要予約）。

QRコード

河合弘之制作作品 原発シリーズ第4弾「**原発をとめた裁判長そして原発をとめる農家たち**」都内で絶賛上映中



観てきました。もちろん原発事故の恐ろしさも再確認しましたが、国策と闘う気骨ある裁判長、さらにソーラーシェアリング農場を頑張る福島県二本松市の若者のことを知り、勇気が湧いてきました。視聴後、二本松の農場には実際に訪問し、若者を激励して来ましたが、ぜひ多くの方に観ていただきたい映画です。坂戸での自主上映会はいかがでしょう（武井誠）。

（お知らせ）残念ですが、恒例となっておりました「武井誠を励ます会『新春の集い』」は今回も中止といたします。状況をみながら、あらためて武井誠の議会報告＆交流会を行う予定です。「武井誠と話す会」を企画していただければ幸いです。人数に関わりなくおうかがいします。